

## 2 目指す姿

本県は、「信仰の対象、芸術の源泉」として<sup>そび</sup>聳える世界文化遺産富士山、山々と名水と温泉を擁し深い海の眺めを打ちひろげている伊豆半島、幾多の名刹と入江と岬を擁する浜名湖をはじめ、南アルプス、天竜川・大井川・安倍川・富士川・狩野川等の各河川や長い海岸線等、全域にわたって多様な自然を擁している。

また、そこに暮らす人々の営みや文化、歴史等と相まって豊かな風土が形成され、固有にして印象的な景観を具備している。

そこで、本計画では、以上と景観形成の理念を踏まえ、県土の目指す姿として、県土全体を一つの広大な回遊式庭園<sup>※</sup>に見立てることを提起する。

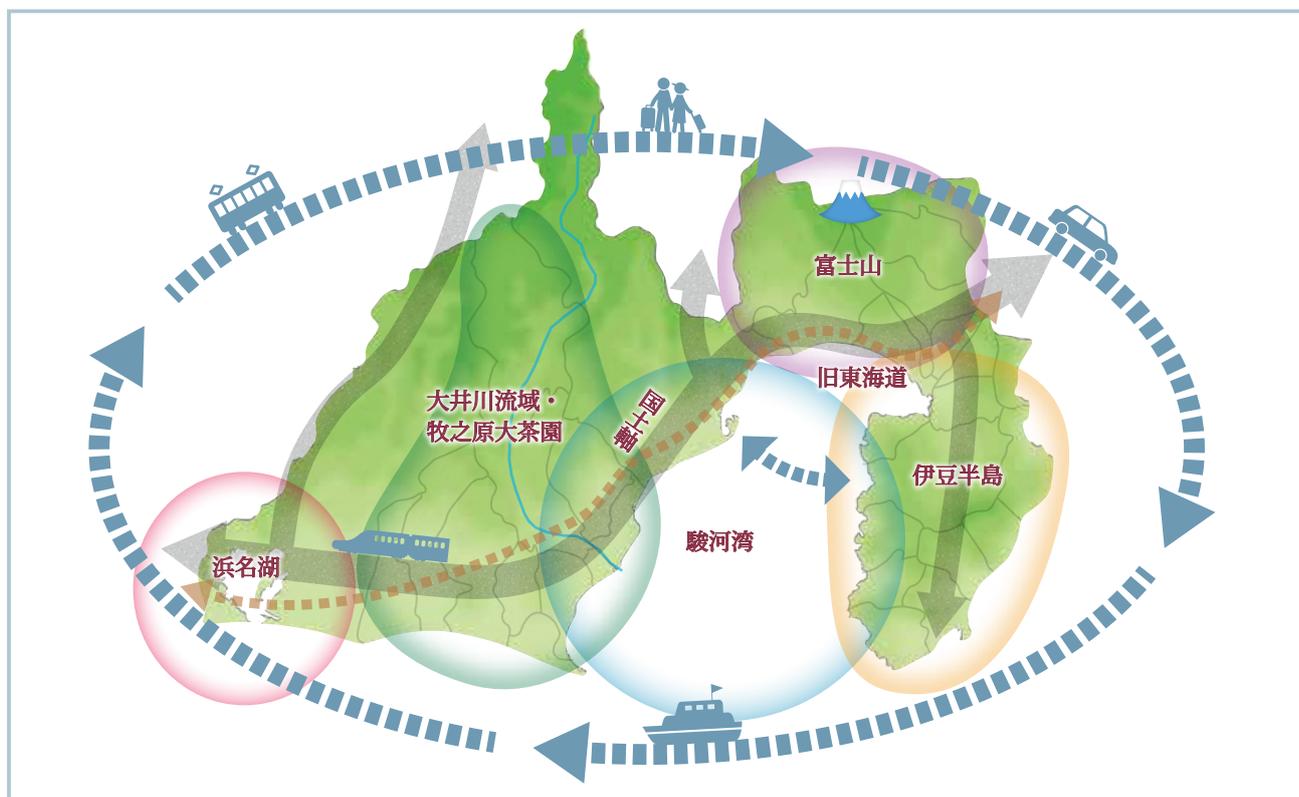
この見立ては、地域や市町が、地元の豊かな歴史や文化と、固有にして印象的な景観にあらためて誇りと愛着を持ち、それぞれが他をもって替えがたい魅力をもつ地であることを認識し、あたかも作庭するかのようにその魅力を磨き上げるための行動の枠組みである。

それはまた、国内外の人々が、広大な県土に繰り広げられる多彩な景観を訪ね歩き愛でることで、その魅力が、地域の認識以上の価値として再発見され、本県の目指す移住・定住の促進や、関係人口の創出、国内外の人々との交流の拡大を誘導する、景観施策の象徴である。

### 〈目指す姿〉

しずおかの多彩な景観が織りなす“回遊式庭園”

図 しずおかの多彩な景観が織りなす“回遊式庭園”のイメージ



※日本の伝統的な庭園様式のひとつ。回遊式庭園とは、池とその周囲の園路を中心に作庭され、広大な園内を巡りながら地形に応じて次々と繰り広げられる景観を鑑賞するように造られた庭園。園内に配置された茶亭(休憩所)、東屋(展望所)等の建築物等も景観の一部となり、庭園と建築物等が一体的に一つの作品となって、日本的な美を形成している。

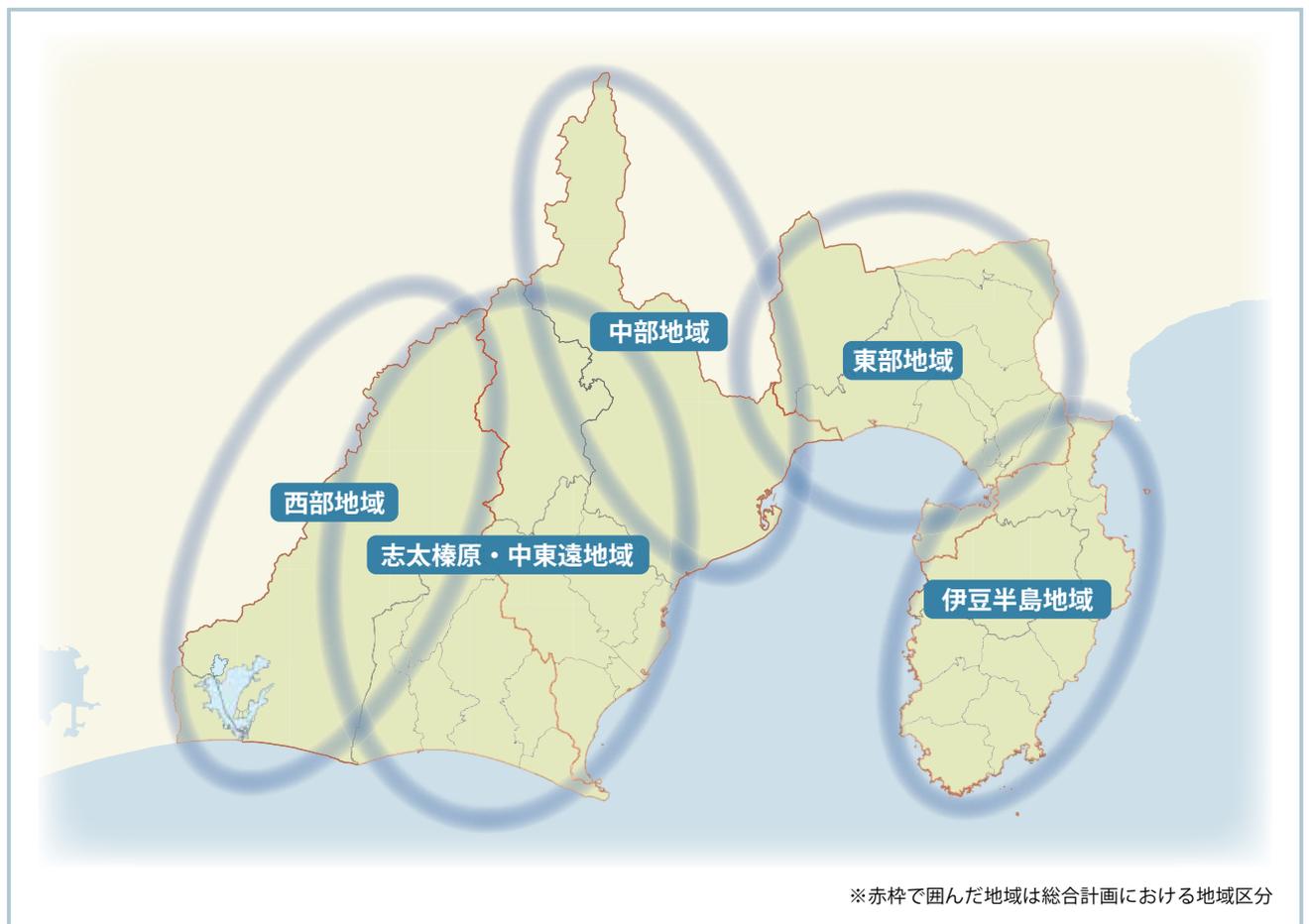
### 3 地域別の景観形成の方向性

歴史的なまちの成り立ちや地形的な一体性、そして現在の生活や行政面でのまとまりを考慮し、県土を、伊豆半島地域、東部地域、中部地域、志太榛原・中東遠地域、西部地域の5地域に区分する。

これら5地域は、それぞれが独自の景観特性や課題を有しており、県全体として多様で魅力的な景観を形成していくためには、各地域の市町と一体となって共通の方向に向かって取組を展開することが必要である。

こうしたことから、「地域別の景観形成の方向性」では、5地域の特性や課題を踏まえ、各地域において配慮する事項等を提示するものとする。

図 地域区分図



なお、静岡県総合計画〔案〕（令和7年12月）第5章において、地域づくりの基本方向及び地域ごとの目指す姿が示された。（下表参照）ただし、必ずしも地域の枠にとらわれず、性質や面的な結びつきを踏まえながら柔軟な対応を図るものとされている。次頁以降に示す地域別の景観形成の方向性は、上記を念頭に進めるものである。

地域区分	目指す姿(要約)
伊豆半島地域	豊富な観光資源や地域の魅力を最大限活かすことにより、観光客や移住者など、常に人が人を呼ぶ賑やかな地域を創出
東部地域	集積が進む医療健康産業や富士山を中心とする観光圏など、将来有望で地域の個性を際立たせる産業が花開く地域を創出
中部地域	南アルプスから駿河湾まで、変化に富む素晴らしい自然景観に加え、県都を有し、商業や芸術文化等の中心として求心力が加速する拠点地域を創出
志太榛原・中東遠地域	大井川流域・牧之原大茶園の広域景観形成に重点的に取り組み、牧之原台地の茶園景観や農村景観等の保全・活用による新たな価値を創出する地域
西部地域	地域の発展の原動力となったものづくり産業、次世代産業、温暖な気候や豊かな自然が育む農林水産業など、多種多様な産業が調和して、新たな価値を創出する地域